九州の女性プロフェッショナル'17

能力を発揮できる体制づくり

中小企業を中心に人手不足が喫緊の課題となっている。女性や外国人の一層の登用が注目される中、政府は女性活躍推進法を定め、女性が社会で能力を遺憾なく発揮できる体制づくりを進める。だが、日本は女性が活躍できる社会の構築に向けて途上であり、仕事と家庭の両立など解決すべき課題は多い。本座談会では上場企業から中小企業まで九州で働く女性4人に集まってもらい、会社の人材教育や福利厚生などを聞いた。

専門性ある仕事 そのやりがい

理系の研究経験生きる 松尾氏
積算は会社の根幹業務 鋤柄氏

松尾 美和氏

―自己紹介をお願いします。

松尾 勤続16年目で、開閉器の基礎研究をしています。開閉器は電気を安定供給するために必要で私たちの生活に欠かせないものです。プライベートでは子どもと人の母親としてせしい毎日を送っています。

大戝 入社9年目で船舶用エンジン部品のシリンダライナやシリンダカバなどを製造する会社で働いています。工場で鋳物を作るために必要な中子の造形と仕上げを担当しています。もともとモノづくりは初心者で以前は建設会社の事務職として働いていました。

鋤柄 入社3年目です。家の設計に興味を持ち唐津工業高校の建築科に進学しました。現在の仕事は官公庁が発注する工事の費用を算出する積算が担当です。工事現場を見学して施工時間や何人体制で作業しているかなどを勉強しています。

竹内 入社13年目で飲料水の水質検査など環境保全に関わる仕事をしています。内勤だけでなく打ち合わせのためお客さんの元にうかがったりします。課長補佐の役職で、後進の指導育成なども行っています。

―皆さん異なる分野で業務に従事されています。現在の会社を志望した理由は。

松尾 私は小さいころから理科が好きでした。大学は理系に進み、光触媒の研究を卒業研究に選びました。就職活動と同じころ、弊社が水処理事業を立ち上げました。研究テーマと合致していたので学んだことを生かせると志望しました。

大戝 40―50歳の枠で人材募集をしていて、事務職から製造業への挑戦を決めました。鋳物の現場は暑く、力仕事で体力も必要なため男性が多く活躍する職場です。社長が「女性は将来の力になる」と女性登用に積極的だったことも縁だと思います。

鋤柄 就職活動で建設業は女性採用に積極的ではない現実を知りました。弊社も本来は土木科で募集していましたが、建築科、しかも女性の私を快く受け入れてもらいました。面接前の職場見学では、社内の清掃がきれいに行き届いていることが印象深く残っています。

竹内 私も松尾さんと共通して理科が好きで将来は研究に携わることを思い描いていました。そのため大学も環境理学科に進学。新卒時は研究職とは異なる世界に飛び込みましたが、紹介もあって学んだ知識を生かしたいと今の会社に入社しました。

―皆さん専門的なお仕事ですが、やりがいは何でしょうか。

松尾 開閉器は私たちの身近にある電柱などに取り付けられており、間接的に私たちの生活に関係していると目に見えて実感します。子どもに自分の仕事を紹介できます。

大戝 作業した鋳型がやがて製品となり、お客さんの元に届く。モノづくりに携わっている実感があり、やりがいにつながっています。複雑な形状で作業が難しい製品もあります。まだまだ一人前とは言えませんが、成長する過程も面白いです。

鋤柄 積算は1円でも間違うと受注できないこともあり、会社の根幹に関わる重要業務です。変動する燃料費の単価なども間違わないように計算します。責任重大ですが売り上げに大きくつながっていると感じます。

竹内 大分県の湯布院に旅行した際に、スーパーで私が分析した飲料水が証明書付で販売されていました。分析の仕事は環境保全全般に関わることができます。名指しで相談してくれる取引先もいて必要とされる仕事だと感じます。

座談会出席者

戸上電機製作所
技術本部開発管理グループ主任
松尾 美和氏

東亜工機
横田製造部鋳造課
大戝（おおたから） 美枝子氏

日本建設技術
企画情報推進本部積算室積算課
鋤柄（すきがら） 可奈子氏

太平環境科学センター
事業部分析課長補佐
竹内 美恵氏

〈司会〉
日刊工業新聞社西部支社長 嶋崎 直

一から学び資格も取得 大戝氏
自動化進め働き方改革 竹内氏

大戝 美枝子氏

―鋳物工場など特殊な仕事であればある程、教育体制にも特徴がありそうですね。

大戝 私はペンチすら手にしたことがなかったので、全て一から現場担当の方に教えていただきました。資格取得や技能検定受検を推奨する社風があり、私も技能検定1級に合格しました。自分の仕事は自分で完結したいので、玉掛けはもちろんクレーン操作の資格も取りました。

―過酷な鋳物工場に女性を登用するのは会社側もリスクを承知しての上でしょう。

大戝 工場ではヘルメットや粉じん防止のためのマスクを着用します。そんな現場ですから教育する側の男性も女性が来て戸惑ったと思います。いずれ辞めると予想していた方もいたようですが「よく頑張ったね」と言われた一声がうれしかったです。

松尾 私の入社時は1カ月を社内研修、その後配属先で私はオンザジョブトレーニング（OJT）を経験しました。今は2カ月間、主に座学での社内研修をした後に工場で製品製造にも携わります。人事部門の中に研修を担当する専門部署も新設され研修がさらに充実しました。資格取得にかかる受験費の補助や奨励金制度もあります。

―万全の支援体制ですね。4月には新たな制度も始まったとか。

松尾 会社でグローバル化を推進しており、語学力強化の研修やTOEICの定期受験もあります。4月からフィリピンへの短期留学制度も始まりました。留学対象者は会社の方針もありますが、自ら留学を希望することもできます。

鋤柄 私はOJTを基本に新入社員研修では電話対応など一通り経験しました。積算業務は今でこそパソコンですが、最初は電卓を使って教えてもらいました。工事現場の見学は実際の現場が見られるので理解が深まりました。

―20歳の若さで会社の根幹を担う積算に登用するとは、会社の英断ですね。

鋤柄 疑問点があれば気軽に質問できる恵まれた環境です。私が孫や子どもの年代にあたるからでしょうか、みなさん心配して、優しく教えてくれます。手が空いたときは、基準書や工事別の概要などの参考書を読んで学んでいます。

竹内 入社時は寿退社される先輩がマンツーマンで教えてくれました。また内勤メインの技術者であってもコミュニケーション力を身につけるため外部から講師を招いた社内研修にも積極的です。資格取得を目的とした社内の勉強会では、有資格者が講師役を担ったりと人材育成に重点を置いています。

―御社では働き方改革の観点から進める現場の取り組みがあるそうですね。

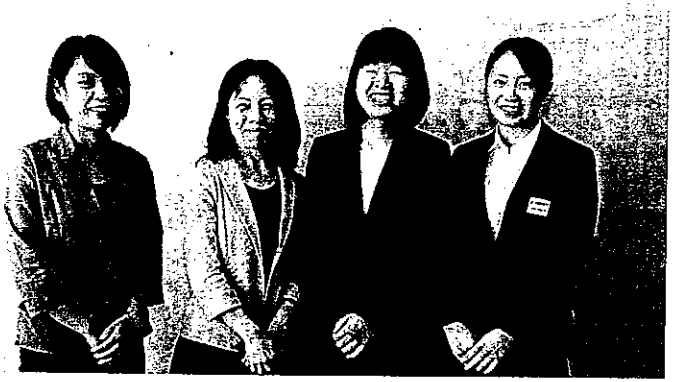
竹内 機械による自動化を進めています。働き続けたいけど長時間労働を嫌がって結婚を機に退職される先輩も多くいました。労働人口が減る中で長く仕事を続けられる環境を整える必要があります。自動化によって定時退社する人数も増えました。社長が「自動化できるものは提案してほしい。世の中にないものは作ろう」と先導してくださいます。特に女性が仕事と家庭を両立できる職場環境づくりを共に働く私たちが自発的に推進していくことが重要だと思います。

現場力を高めて日々成長

女性の働き方支援に必要なこと

女性更衣室などを新設 大貫氏

女性取締役が親身に配慮 鋤柄氏



鋤柄 可奈子氏

―女性活躍を推進するためには、働き方支援や福利厚生の拡充が欠かせません。

大貫 育児休暇や半日有給などがあります。大きく変わったのは私が入社して女性更衣室やシャワー室が新設されました。以前まで女性用トイレは工場内にありませんでした。今の工場は女性が私一人だったので、トイレの設置希望を遠慮していましたが、社長に相談してみると要望を快く取り入れてくれました。

鋤柄 トイレや更衣室、育児休暇など一通りそろっていて不満はないですね。女性の取締役がいるので気軽に相談もできます。普段の内勤時は制服ですが、それとは別に現場見学用に作業着が支給されています。夏冬1着ずつの支給でしたが、洗濯などを考慮して支給数を増やしていただいています。退社時間が遅くなった時のために駐車場所を変更いただくなど各方面で親身になってくださいます。

竹内 自動化を進めることで時間に余裕が生まれました。そのおかげで1年に1度の「記念日休暇」ができました。これは誕生日や結婚記念日などに合わせて平日に5日間お休みをいただけます。土日を含めると9連休となり家族サービスや旅行など各自リフレッシュできます。自動化による働き方改革の恩恵だと思います。

松尾 育児休暇や時短勤務制度などがあります。育児休暇取得後の復帰率は100％で、私も子どもが2人いるので1年間ずつ2回取得しました。子育てするにあたり、急務でない残業や出張を可能な限り減らすように配慮いただいています。職場全体でカバーしあうことが大切ですが、代替が効かない作業者は大変だと思います。

―子どもを持つ身として、仕事と家庭の両立はどのように捉えていますか。

松尾 私は職場環境に恵まれていますが、社会一般には両立は難しいと思います。子どもにとっての母親は不変的です。さみしい思いはさせたくありません。学校行事は可能な限り参加したいですし、PTAもあります。両親が遠方に住んでいるため子どもが体調を崩しても頼ることができません。女性が両立するためには職場の理解が必要です。

―女性が社会進出する中で強みや困っていることは何でしょう。

大貫 細かい気配りなどは強みかもしれません。作業にも細かさや丁寧さが反映されている気がします。

竹内 女性は家事をすることが多いからでしょうか、計画性があり同時並行で作業する能力にたけています。

鋤柄 積算担当の女性登用は初めてですが、私自身は向いていると思います。建築科で学んだ建築の初歩知識も意外と使えます。

松尾 メリットだけでなくデメリットもありました。当初、女性技術者はまだまだ特異な存在でした。与えられた仕事はえり好みできません。女性であることが表立って浮かないように男性が多い職場に溶け込もうと努力した時期もありました。

大貫 男性にとっては当たり前にできる仕事でも女性は簡単にできないことがありますよね。特に体力など埋められない男女間の差は配慮する必要があると思います。

―男性だから向いている、女性だから向いていないと決めつけることは発展を阻害しますね。

竹内 結局は男女関係なく適材適所でしょうか。チャンス自体は十分に与えてもらっています。求めるだけでなく自ら行動に移すことが重要ですよね。

松尾 男女差があってしかるべきだと思います。女性活躍の推進はもちろん大切ですが、女性だからこそ生きる仕事を考えることで長く仕事を続けられる環境が整います。

鋤柄 私は工業高校出身で男の子に囲まれて育ったので、今の環境に抵抗はありません。国土交通省では建設業界の女性活躍を応援してくれているので、将来は女性の絶対数が増えればいいです。

夢は大きく

技術職としての前例に 松尾氏

女性初の社長目指したい 竹内氏

竹内 美恵氏

―今後の目標と今後社会に出る女性に向けた助言があれば教えて下さい。

松尾 キャリア形成を考えたとき時短勤務を使いたくても前例がないという壁にあったことがありました。福利厚生をうまく活用していくことも重要だと考えます。今後は技術職の女性として社内の前例になれるよう、新しいことにも積極的にチャレンジしたいです。

大貫 女性だからといって先入観を持ってほしくないです。これは鋳造に関係なくどんな仕事にも当てはまります。若い子が活躍できる職場をつくるためにも、現役の私たちが努力していかないといけないですね。個人的にはもっと技術を追求して真摯にこの仕事と向き合っていきたいです。

鋤柄 女性でも受け入れてもらったことがとてもうれしくて、この会社で最後まで頑張りたいです。一級土木施工管理技士などの資格にも挑戦して役職者へキャリアアップしたいです。役職が上がれば意見も言いやすくなって、結果として今後の後輩のためにもなると思います。

竹内 夢は大きく女性初の社長を目指したいです。分析は女性にとってやりがいのある仕事で、やりたいことに挑戦させてくれる会社です。何事も気持ちが大切だと思います。私の姿を見て志を高めてくれる後輩が増えればいいですね。

―国がようやく女性活躍推進法に本腰を入れ始めました。お話をお聞きすると、現実はもっと先に進んでいますね。事例を発信することが、女性活躍の取り組みを加速することにつながると思います。みなさんの今後のご活躍を期待しています。本日はありがとうございました。

男女差を考えつつ適材適所で

後輩のためにもキャリアアップ